

## 東北民放クラブだより

### ■「社会活動部会」新たな一歩

長瀬 文則(MMT)

これまでの活動は、視覚障害者に提供する「録音図書」のための録音再生機器のメンテナンス作業や朗読ボランティアサークルへの講師派遣などだったが、今年度から中学生へのアナウンス研修会を始めることになった。

対象は、仙台市立中学校の放送部や放送委員とし、日常の学校生活でのアナウンス活動に役立つ研修にすることを目的とした。

最大の課題は、中学校にどのようにアプローチするかであった。

まず、教育委員会に接触し、視覚教育研究会の会長校を調べた。仙台市内には中学校が64校あるが、研修会開催に前向きと思われる視覚教育研究会の幹事校を中心に目的の説明と感触を図るため直接出向いた。中学校は各々特色があり、研修会開催への反応は様々であった。先生達は多忙なために、興味があっても実現までに至らない学校が多々あった。一方、校内放送や番組制作に熱意のある学校や担当の先生達が、積極的に研修

会開催を希望したので計画は実現する運びとなった。

新しい試みでもあるし、我々の供給能力もあるのです、無理せず一歩ずつ広げたいと思っている。



教室でのアナウンス研修会

### ■待望の麻雀大会・麻雀同好会

大山 敦司(TBC)

7月15日待望の東北民放クラブの前期麻雀大会に17名が参加。

特別ルールを用い午後1時にスタート。3回ゲームを行い順位を決定する。あちら、こちらから奇声や笑い声が聞え本当に楽しそうだ。雀荘も同好会に協力的でいつも感謝、今回は役満は出なかった

が順位の点数差の大きさには驚いた。こんなにツキや運が現れることは珍しい。優勝者はプラス41点、BMはマイナス45点となり点数差が80点以上もあった。だから麻雀は面白くてやめられない。

大会終了後夜の国分町に場所を移し反省会と暑気払いを兼ね会場へ。「あの時何故アレを捨てたのか」

「あの待ちにしたのは良かった」とか賑やかな反省会と暑気払いとなった。後期の麻雀大会は11月23日勤労感謝の日に決定し散会した。

皆さん麻雀同好会に入会しませんか！認知症予防に最適ですよ。

優勝 齊藤繁男(EX)

準優勝 岡部信義(MMT)

第三位 菅原正喜(YBC)



麻雀同好会・例会

### うらら俳句会

面影を共に連れ去る盆おくり

上崎 正(RAB)

片蔭を拾いて主婦の立ち話

沖本まゆみ(O X)

部屋に来て蟬鳴ひてると窓開くる

小杉 祐作(AKT)

夏田圃つがいの白鷺冷やす脚

鈴木 孝志(MMT)

然う言えば七十年前は蜻蛉釣り

曾根 徳英(TBC)

夏空に白い雲湧き山の青

丹野 稔(MMT)

馥郁と連理のバラ咲き日野原忌

橋浦 愛武(KHB)

梅の香に復興願い土用干し

山並 秀昭(O X)

蟬しぐれ窓閉め切って声楽科

横山 萬平(TBC)